

SRフォーラム2013

さいたま市の CSR推進施策について

平成25年5月10日

さいたま市 経済局経済部経済政策課

1 はじめに

CSR活動に関する認証制度を創設



持続的なCSR活動の展開



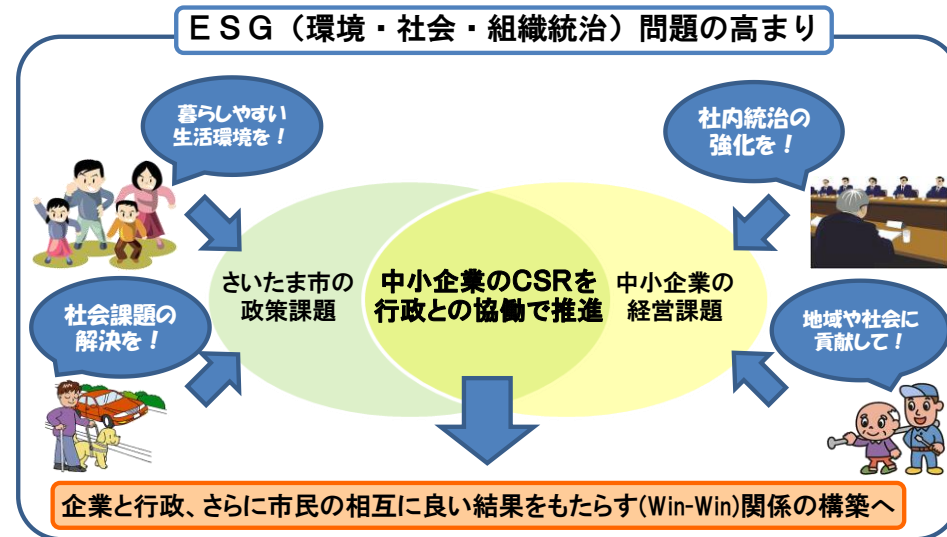
企業の成長・発展・イメージアップ



地域社会に末永く必要とされ、
長続きする企業の増加

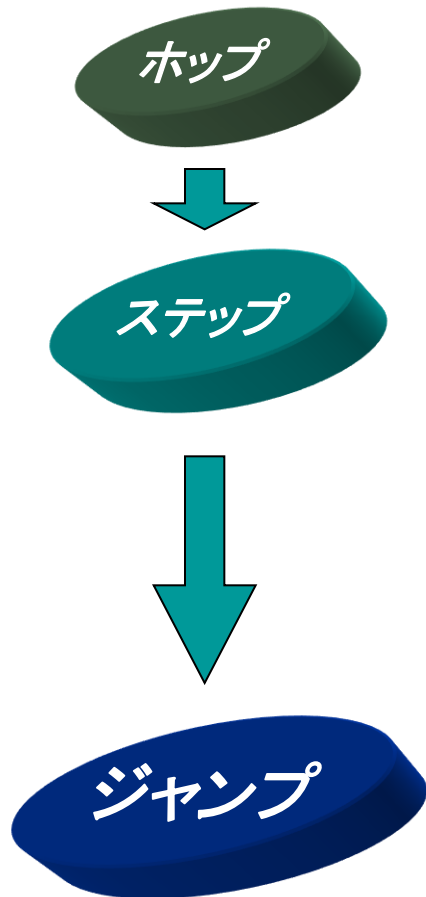
2 CSR施策の考え方

- CSRで直面する課題 (ESG問題)は、行政にとっても政策課題
- 中小企業こそCSR
 - 事業所数、従業員数でも圧倒的多数は中小企業
 - 中小企業が取り組むCSRには一定の地域性



企業と行政との協働によるCSRの普及・促進が必要不可欠

3 さいたま市のCSR施策の概要



- **CSRチェックリスト**
～中小企業のためのCSR読本～
 - CSRに関する「気づき」を提供
 - 中小企業ならではのCSRについて解説
- **CSRチャレンジ企業認証制度**
 - CSR経営に取り組む意欲の高い企業を応援
 - 認証企業相互のコミュニティ作りを支援
⇒ 産業振興の一環としてのCSR
- **CSRコミュニティ**
 - 認証企業限定のセミナーを開催
 - メンバーミーティングなどの情報交換

4 CSRチェックリスト(中小企業のためのCSR読本)のねらい

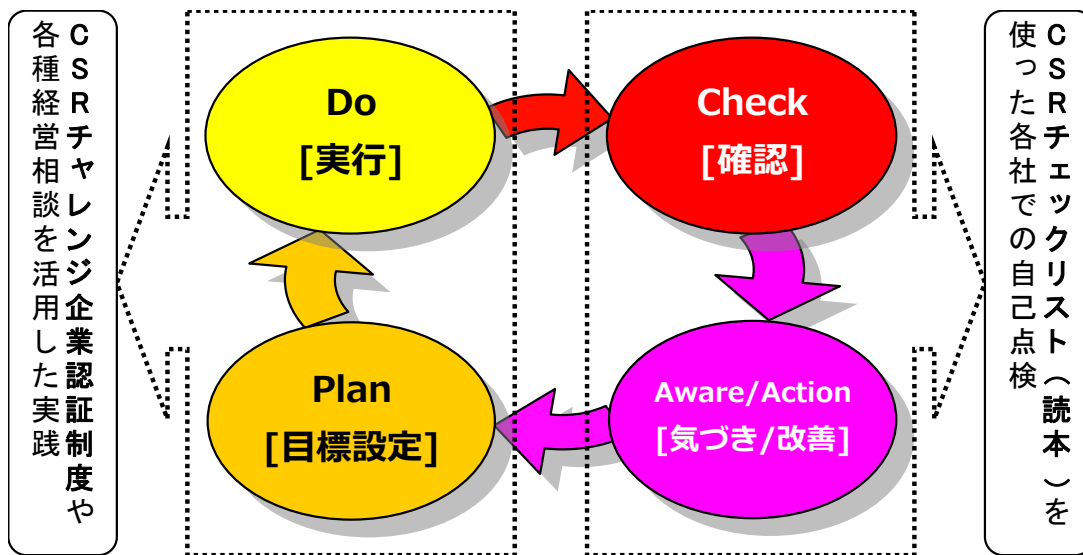
- 中小企業が、自らの事業活動の維持・拡大を図りつつ、社会的健全性を両立させた経営の実践を図るためのヒント集的な位置づけ
- 「CSR≠社会貢献」、「CSR＝企業経営」という視点からの、経営のあらゆるプロセスにおけるCSR的考え方、具体的行動例を提示



日頃の企業での取り組みがCSRということもある
その「気づき」を提供するためのツールとして提供

5 CSRチェックリストの使い方

- PDCAサイクルの「Check」から始める道具として活用
⇒CSRに関する気づき(Aware)を得る。
- Plan,Doの段階では、産業支援機関の経営相談や「CSRチャレンジ企業認証制度」の活用も



CSR経営のサイクルとさいたま市のCSR施策の活用

何度も繰り返し
参照することで、
自社のCSR経営
の向上へ！

6 チェックリストの構成

■ 守るCSR

- ルールを守りながら、収益を上げる
- 企業存続のための必須要件

■ 伸ばすCSR

- 事業活動のプロセスと結果を通じた、社会問題への関与
- 企業価値の創造につながる



大分類	中分類	小分類
何のために	誰に対して	何をするか
伸ばすCSR	企業内部	経営革新
		社内コミュニケーション
		労務管理
		環境経営
	企業外部	社外コミュニケーション
		製品及びサービスの提供
		調達
	地域社会	地域志向
		環境経営
		安全・安心
教育・文化・スポーツ		
社会貢献・地域協働一般		
守るCSR	企業内部	企業風土
		企業統治
		情報セキュリティ
		労務管理
	企業外部	製品及びサービスの提供
		調達
		調達以外の商慣習
	地域社会	環境経営

7 守るCSRチェック項目

【企業内部】

- ・会社としての信念・方針や理念がある
- ・法令違反がないか定期的にチェックしている
- ・取引先などの個人情報ルールを定めて管理している
- ・過去3年間に事業に関して無事故・無災害である
- ・法令に基づき社員等に健康診断を受診させている

【企業外部】

- ・納期を厳守し、安定的な製品・サービスを提供している
- ・取引先への発注は書面で行うなど、誤発注がないよう努めている
- ・顧客・取引先の要望・不満に対して、誠実に対応する仕組みがある

【地域社会】

- ・騒音・振動・悪臭・汚水など法令に基づく環境経営を行っている

8 伸ばすCSRチェック項目(1)

【企業内部】

- ・産学連携等による新商品・サービスの開発や経営改善に取り組んでいる
- ・社内提案制度など従業員の意見が経営者に届く仕組みがある
- ・女性を管理職として積極的に登用している
- ・従業員が育児・介護・看護休暇を実際に取得できる仕組みがある
- ・従業員の能力を図る仕組みがある
- ・気候や労働環境に応じた服装での勤務を奨励している

【企業外部】

- ・ホームページ等で企業情報のほか製品やサービスの内容を伝えている
- ・展示会や見本市に出展し、自社や自社の製品のPRに努めている
- ・分かりやすい製品・サービスマニュアルを作成している
- ・経営者から担当者まで取引先と対等な立場で取引を行っている

9 伸ばすCSRチェック項目(2)

【地域社会】

- ・地域を意識した製品やサービスを扱っている
- ・省エネやCO2削減に向けた具体的な行動を社内実践している
- ・従業員の消防団等への参加を推進している
- ・防災訓練等を定期的実施している
- ・学生の就業体験(インターンシップ)の受け入れを行っている
- ・国際交流に関する取り組みを進めている
- ・社員のボランティア活動を支援している
- ・NPO等の非営利活動団体の事業に具体的な協力をしている

10 CSRチャレンジ企業認証制度

CSRを軸にした企業経営の改善にチャレンジする企業を認証



CSR目標の達成に向け必要な支援を提供
認知度向上・企業活動の活性化

【認証までの流れ】

チェックリスト自己診断



認証申請



実地検査・再評価



推進会議



認証決定

11 CSR推進会議

【さいたま市CSR推進会議】

市が行う施策の推進及びCSRの取り組みを拡大を図るため、専門的な立場から指導助言を得る

【さいたま市CSR推進会議委員】

- ・学識経験者
- ・市民活動サポートセンター
- ・地元金融機関
- ・さいたま商工会議所
- ・市内消費者団体
- ・さいたま市産業創造財団
- ・市内上場企業

12 認証企業のPR

- 認証式は、さいたま市商工見本市(コラボさいたま)で実施
 - 本年は11月8日(金)~10(日)
 - 昨年度来場者数 35,000人
 - 実施期間中、認証企業のCSRの取り組みを展示・紹介
- 市報さいたま、市HPで企業情報を掲載
- プレスリリースの活用



13 さいたま市CSRコミュニティの効果

- 個社だけでは難しいCSRの更なる発展
 - 共にCSRを学びあい、研鑽することで、高いレベルでのCSR経営の維持を実現
- 新しい事業機会の創出
 - CSRを軸に、業態や規模の違う経営者が集まることで、従来の異業種交流とは異なる形でのビジネスマッチングや、共同事業機会を創出
- 「受け継ぎたくなる会社」づくり
 - 後継者や従業員と共に参加することで、経営者の思いが伝わり、地域に必要とされる会社として、次世代に受け継がれる

14 認証制度応募状況

- 募集期間 平成24年8月27日～9月18日
- 応募企業数 15社
 - 内訳(産業大分類別)
建設業3、製造業6、電気・ガス・熱供給水道業1
情報通信業2、専門技術サービス業2、医療福祉1
- 企業規模(従業員数)
 - 最少4人(実質1人)～最大1,041人
9人以下:7社、10～49人:3社、50～99人:3社、100人以上:4社
- 社歴 最短4年～最高65年 (平均32.3年)

15 認証企業への支援メニュー

- 市内外の展示会出展によるPR
 - 企業立地フェア2013
 - (平成25年5月15日(水)～17日(金) 東京ビッグサイト)
 - さいたま市商工見本市「コラボさいたま」
 - (平成25年11月8日(金)～10日(日) さいたまスーパーアリーナ)
- ラジオ番組への認証企業の出演
 - 「かわさきFM」(社会貢献専門番組)への出演
 - 「FM浦和」でさいたま市CSR関連コーナーの設置
- ミドルマネジメント層向けセミナー開催

16 まとめ

CSRチェックリストの普及

自らの事業活動の維持拡大を図りつつ
社会的健全性を両立させた経営の実践



CSRチャレンジ企業認証制度

自ら申請時に立てた「CSR目標」の達成に向け
必要な支援を提供し、認知度向上を図る



信頼できる会社

活力にあふれ、地域社会に末永く必要とされ、大切にされる企業